

左側結腸癌・直腸癌手術に対する ICG 蛍光法を用いた吻合部血流評価の有用性に関する研究

1. 研究の対象

2016年1月から2019年8月までの期間に、当院で左側結腸癌、直腸癌に対し腹腔鏡予定手術を施行された方

2. 研究目的・方法

【背景と目的】

大腸癌の手術において、縫合不全は临床上最も問題となる術後合併症です。さらに、縫合不全の有無が癌の再発と関連するとの報告もあります。したがって、縫合不全を減らすことは、患者さんの術後 QOL、医療経済および術後晩期アウトカムの観点から最重要課題です。当院では、2018年4月より、左側結腸・直腸癌手術の際に、血流やリンパ管を可視化する ICG 蛍光法を取り入れています。本研究では、腸管血流評価の有用性、特に縫合不全低減への関与について検討します。

【対象と方法】

患者背景、手術関連因子、術後合併症について ICG 導入前後での診療情報を比較検討します。

【研究実施期間】

倫理委員会承認日～2020年4月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景、手術関連因子、術後合併症の有無等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

熊本県熊本市南区近見 5-3-1 済生会熊本病院

096-351-8000 (病院代表)

研究責任者：外科 松本 克孝

以上